

📍ごおりまち

議会だより

令和5年 秋号 Vol.134

令和4年度決算 認定	2
9月定例会	
委員会調査報告	10

認定子ども園・協議の結果は	12
一般質問 7名登壇	
議会モニター会議	20

「歴史・文化エリア」の拠点に
相応しい活用が望まれる



令和4年度
決算

町民を守る
コロナウイルス感染症

対策・災害復旧を重点に！

賛成 7 / 反対 3

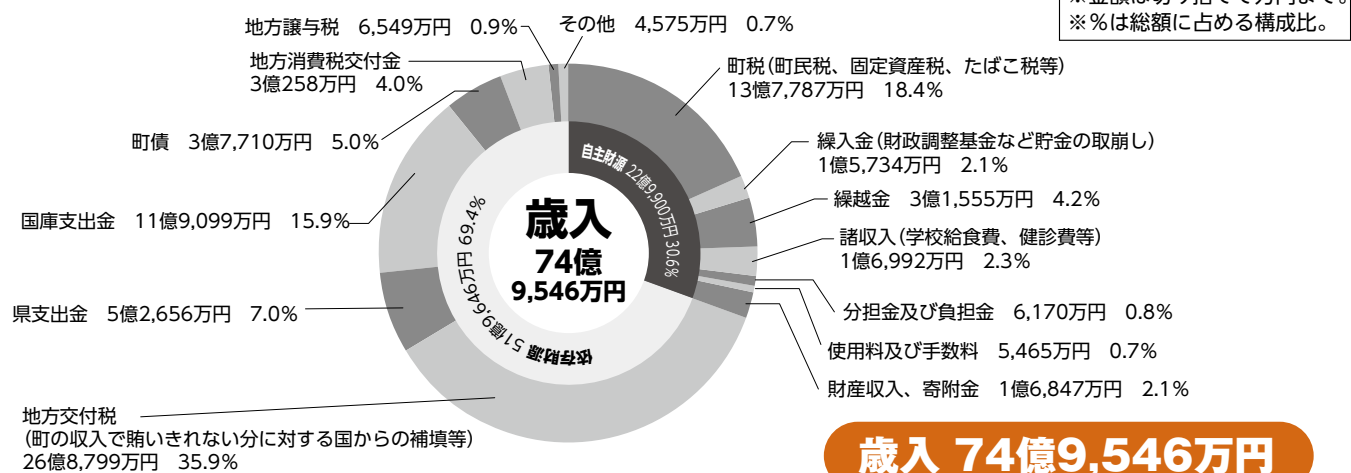
前年度比
9.7%増

認定

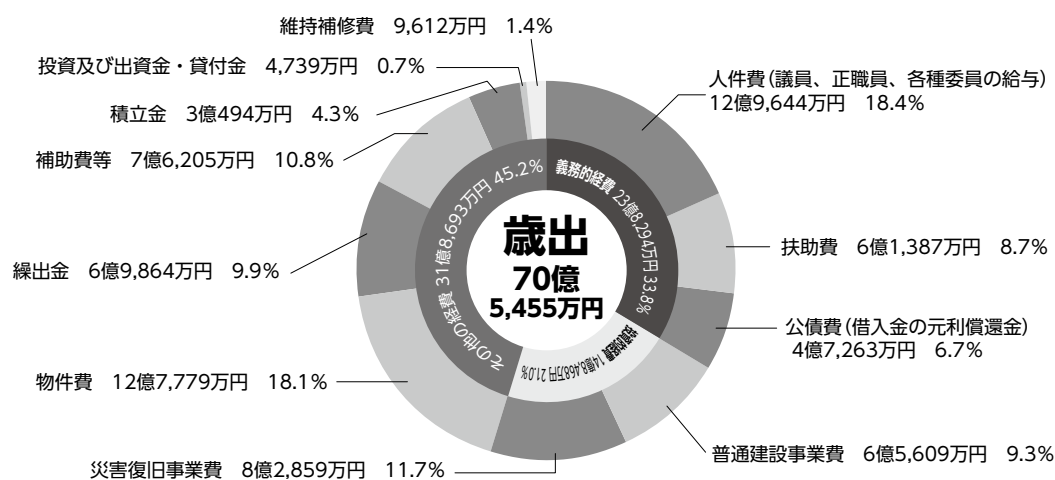
町税一人あたり年次別比較

町税一人あたり総額 令和4年度 123,842円 (4,249円の増)
(令和3年度 119,593円)

※金額は切り捨てで万円まで。
※%は総額に占める構成比。



歳入 74億9,546万円



歳出 70億5,455万円

- 自主財源…町が自主的に収入する財源
- 依存財源…国や県から定められた額を収入する財源
- 投資的経費…施設など財産として将来に残るものに係る経費
- 義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減できない経費

決算審査結果

桑折町監査委員

鈴木 頼子
佐藤 武朗

審議に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書はいずれも地方自治法及びその他関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている計数等もこれら関係帳簿と符合した結果、正確であると認められた。また、予算についても概ね適正に執行されている。令和4年度は、長びく新型コロナウイルス感染症の影響と2年連続した地震災害、更には原油価格、物価高騰等により、町民生活は厳しい年となった。そうした中で、新総合計画初年度の年としてウイズコロナ・アフターコロナを見据えた事業の展開をはかり、災害復旧に努めながら、成果を上げたことが認められる。

主な特定目的基金

がんばるふるさと・桑折応援基金	積み増し額	1億4,368万円
	年度末保有額	1億7,184万7千円
伊達桑折IC周辺インフラ整備基金	積み増し額	1億2,000万円
	年度末保有額	1億2,000万円
奨学基金	積み増し額	2,425万8千円
	年度末保有額	8,000万円

〈健全化判断比率〉 報告された健全化判断比率

実質公債費比率※1		将来負担比率※2	
令和2年度	9.6%	令和2年度	36.6%
令和3年度	9.2%	令和3年度	14.0%
令和4年度	9.2%	令和4年度	5.4%
早期健全化基準※1 25.0%		早期健全化基準 350.0%	

※1 実質公債費比率、早期健全化基準…数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく財政負担が少なくなります。

※2 将来負担比率…数値が小さいほど将来の負担が小さくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

9月定例会は8月29日から9月12日まで、15日間の日程で開催された。令和4年度の一般会計・各種特別会計決算では、各課への質疑を行った後、町長への総括質疑を経て審議した結果、全ての会計を承認した。

「新型コロナウイルスワクチン接種」、福島県沖地震による伊達崎小学校他4校、昭和大橋、道水路の復旧事業を実施

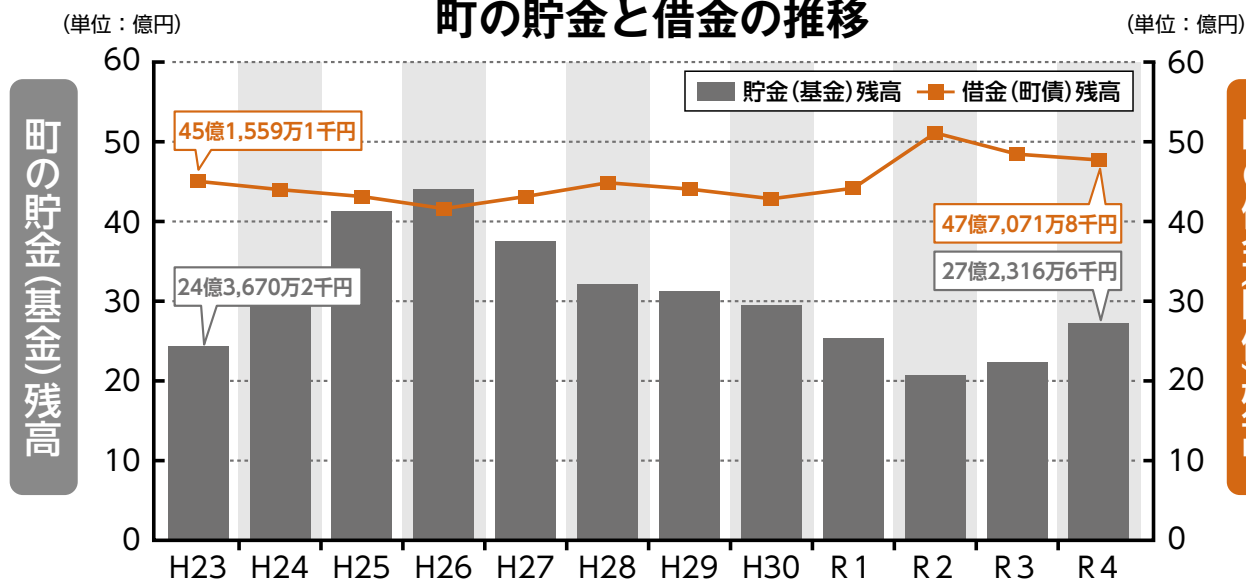
令和4年度決算は一般会計歳出総額が70億5,455万円となった。

また、財政調整基金・目的基金へ6億2,420万円を積み立てた。主な事業は、災害復旧費として

地震による各学校の復旧工事に約2億4,400万円、町道及び昭和大橋に約1億9,990万円、予防費としてコロナワクチン接種に約1億4,300万円等へ歳出した。

令和4年度決算

町の貯金と借金の推移



町の借金(町債)残高

町の貯金(基金)残高

令和4年度
一般会計決算
総括質疑

DX担当を独立部署とする考えは

羽根田 ひとみ 議員

問 桑折町ではデジタル・トランスフォーメーションの策定をされた。町民の日常生活の利便性と、職員の業務効率化を図るためDX事業は重要である。この事業を進めるうえでDX担当を独立した部署とし、集中してできる環境のもと早急な実現を望むがいかがか。

答 令和7年度末までに完了予定。担当・部署については、人材育成も含め検討する。

シティープロモーション事業の効果は

石幡 政子 議員

問 シティープロモーション事業は桑折町の魅力を広く他地域に発信し、多種多様な事業を展開していると認識した。所管別質疑で担当課から令和4年度の成果を伺ったが、町長としての成果分析を伺う。また、情報発信のツールで新しい取り組みはあったか。

答 シティープロモーション事業については、仙台圏を中心に展開してきた。献上桃の郷ブランドがプロモーションの重点事業だが、その効果は直売所での桃の販売額が増加し結果、生産農家へ還元された。また、

情報発信のツールは時代の流れを読み、SNSやYouTube等若者に向けたサイトも活用してきた。今後もインパクトのあるプロモーションを展開していく。

町税収納率向上に向けた取組は

鈴木 隆志 議員

問 町税の収納率が、向上傾向にある中において、依然として、多額の町民税・固定資産税・軽自動車税の収納不能・収入未済額が生じている。今後において、財政の確保が重要となってくる。収納率向上に向け、適正債権管理に努めていくことが必要と考えるが、町長の所見を伺う。

答 収納未済については、完納を目指し、これからも、しっかりと徴収事務を進めていく。また、どうしても収めることができない状況で、不能欠損となる事案もあるが、国民の義務である納税の主旨をしっかりと伝え、納税に協力してもらえるよう今後においても、説明していく。

町民サービスは手薄ではなかったか

川名 静子 議員

問 令和4年度はコロナ禍の中また、地震への復旧工事が続き執行率94・4％、執行残の金額が、約2億7600万円と昨年より多い。予算のつかみが甘かったのか、町民要望の多い事業等、町民サービスは手薄ではなかったか評価を伺う。

答 アフターコロナを見据えた当初予算だった。行動制限から未執行にならざるを得ない事業もあった。また、2年連続の地震災害の復旧に対する支援等が要因だ。町民サービスには、国からの交付金を一早く生活支援者に届くよう対応してきたことから、それほど町民生活に対し悪影響があった1年ではなかったと判断する。

各種事業の成果は

原 賢志 議員

問 「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現を目指して各種事業を執行してきたが、コロナ禍において十分に成果を上げることができたか伺う。

答 新総合計画の初年度であったが、コロナ禍及び二年続けて震災に見舞われたことを踏まえれば十分とは言えない。しかし、感染拡大防止を念頭におきながら、可能な手法を模索し各種施策を掲げてきた。実施時期によりできた事業、できなかった事業はあるが、可能な限り感染拡大防止について十二分に配慮しながら実施してきたことで、概ね一定の成果を収めることができた。

財政担当知らぬ間の計画か

齋藤 松夫 議員

問 補正予算質疑の途上、旧郡役所周辺整備計画で、11億余の事業費が出てきた。この事務は令和4年度の事務と承知する。

なぜならば総務課長答弁で、国への提出は本年7月で、同課長がこの計画を知ったのは5月ということだからだ。財政を預かる総務課長が知らない間に巨額の事業計画が立案されていたとすれば問題だ。そこで伺うが、令和4年度中に政策会議にかけられた10件の中に、この計画は入っていたのかどうか明らかにされたい。

計 答 10件の中には含まれていなかった。計画の見直しに着手したい。

「おびへん」から「ひびへん」への転換

岡本 貴士 議員

問 町の最上位計画である新総合計画(令和4年度から10年を見据えたもの)では、町長は「人口減少・少子高齢化が進む中、行政施策については、これまでの『ものづくり(ハード事業)』から『ひとづくり(ソフト事業)』への転換が求められる」と話している。議会では施設建設の議題が多く『ひとづくり』の話が少ない。令和4年度における『ものづくり』から「ひとづくり」への転換について、どのような成果があったものか伺う。

答 地域経済の視点から、桃の需要がものすごく伸びて農家の所得はあがった。商店街にあっては独自商品の開発をしているお店は賑わっている。町の環境が新規店舗を吹き込んでおり、来町者は増えている。

一般会計決算認定に対する討論 反対	齋藤松夫 議員	次の理由で反対の態度をとる。 ①議決案件の議会提出を怠るなど議会軽視の事務執行。 ②認定こども園が「重大で深刻な事態」となった要因は、令和3・4年度事務執行が瑕疵あるものであったことによるものだ。 ③情報の公開と共有が、住民自治の土台であることを承知しながらこれを怠り、虚偽答弁まで行うという事態にまで至った。 ④令和4年度における、11億余の旧郡役所整備計画立案は、政策判断誤りの典型である。
	川名静子 議員	災害対応で平時より事務量の多い1年であったと思う。そのような中での執行率を昨年比0.8%増の94.4%は評価する。しかし、実質収支が4億3,386万1千円の黒字になったとはいえ、単年度収支、実質単年度収支は赤字に戻った。不用額においては約2億9千万円、減額対応が可能なものもある。無駄なく有効に町民目線で町民ニーズに合わせた財政運営を望み反対討論とする。 なお、事務執行に当たっては吏員として緊張感をもち取組んで欲しい。
	鈴木隆志 議員	町民に直結する事業に対して反対するものではない。令和4年度補正予算「幼保連携認定こども園の子育て支援事業費」に対し反対したものとして、待機児童ゼロの町に於いて、なぜ「幼保連携認定こども園」を含む事業者を最優秀者として選定したのか。 公設公営の醸芳保育所を廃止してまで、民設民営の「幼保連携認定こども園」に移行する必要があるのか。町民からの理解が充分得ないまま事業を進めようとしたことに対し反対するのである。

一般会計決算認定に対する討論 賛成	半澤 高 議員	決算認定に賛成の立場から討論する。 「木を見て森を見ず」ということわざがあるが、決算の全体像を考えた場合、令和4年度においては、新型コロナ感染症対策や福島県沖地震からの復旧事業、物価高下における生活者支援事業などを中心に各種事務事業が行われており、それら事務事業は町民に寄り添ったものである。その結果としての決算であると考え賛成する。
	羽根田ひとみ 議員	コロナ禍にも関わらず全般の事業が実施された。中でも、健康福祉事業や文化事業は休日も数多く実施されていた。 これからも、創意工夫をした取り組みと、行動力に期待する。 そして、DX推進に最も期待をして賛成とする。
	原 賢志 議員	令和4年度の各種事業は、コロナ禍等にあってもおおむね一定の成果を上げることができたと確認できた。教育部局においても、厳しい状況のなか生活習慣の確立や学力向上が図られたと確認することができた。 今後も「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け、全職員が全力で行政執行に当たると共に財源確保と経費節減を図り、持続可能な財政運営に努めることを求め賛成討論とする。

認定

令和4年度 特別会計決算

		歳入	歳出	差引残金
国民健康保険	決算額	13億4699万6845円	12億9496万8041円	5202万8804円
	概要	予算額に対し0.2%の減 (収納率は85.8%)	予算に対する執行率は95.9% 主な歳出は保険給付費が71.5%	次年度に繰越し
後期高齢者医療	決算額	1億9028万6152円	1億8508万 581円	520万5571円
	概要	予算額に対し0.7%の増 (収納率は99.9%)	予算に対する執行率は98.0% 主な歳出は後期高齢者医療 広域連合納付金*94.8%	次年度に繰越し
介護保険	決算額	16億6546万4789円	15億1077万8162円	1億5468万6627円
	概要	予算に対し1.8%の増 (収納率は99.2%)	予算に対する執行率は92.3% 主な歳出は保険納付費が92.1%	次年度に繰越し
公共下水道事業	決算額	2億9863万5711円	2億8305万1698円	1558万4013円
	概要	予算額に対し3.2%の増 (収納率は99.8%)	予算に対する執行率は97.8%	次年度に繰越し
半田財産区事業	決算額	111万326円	7万923円	103万9403円
	概要	予算額に対し0.2%の減 (収納率は99.8%)	予算に対する執行率は6.37%	次年度に繰越し

	決算概要	収益的収支	資本的収支	令和3年度 剰余金処分
水道事業	有収率は81.6%で前年対比3.2%の減少、地震による漏水拡大が今年度も影響している。	収 入 3億3919万9千円 支 出 3億 258万3千円 純利益 3661万6千円 (税抜き)	1億538万2439円の不足が生じ、損益勘定留保資金、積立金で補填した。	建設改良積立金に4169万2千円を積立、残金を次年度に繰越した。

令和4年度 特別会計 総括質疑

国民健康保険

国保事業の健全運営に向け

鈴木 隆志 議員

問 国民健康保険税において、納付不能・納付未収の額が多額になっている。少子高齢化時代に向け、保険事業を健全に運営していくには、財政の確保が重要となってくる。不能欠損・収入未済額をできるだけださないように、滞納者の実態を踏まえながら、適正な債権管理に努めていくことが、大切と考えるが、町長の所見を伺う。

答 国民健康保険事業は、被保険者の保険料によりまかなっていくことが基本である。軽減措置等、低所得者に配慮をしている中においても、なお、納めたくても納められない厳しい実態がある。今後においても、なお、一層理解を得ながら納税に努めていくようお願いしていく。

介護保険

必要なサービスは届けられたか

川名 静子 議員

問 第7期計画から継続して、「高齢者の自立支援と要支援・要介護状態の重症化防止を図ると共に、介護保険制度の持続可能性を確保することに配慮しながら、必要とする方に必要なサービスの提供する」の考えから実施されているが、執行率92・3%と低い。

当然のごとく昨年より多い約1億2520万円の不用額が出た。これで必要な人が必要とするサービスが受けられたとは思えない。4年度の事業総括を伺う。

答 施設、訪問、家庭内においても感染防止に万全を期し、対面でしかできないサービスも実施が不可能の判断する事もあった。受ける方の理解が得られたこと、関係者の努力もあって大きな事故にも至らなかった。

提出議案

令和4年度各種会計決算認定7件、
条例改正4件、補正予算4件、同意4件、
条例制定、未処分利益剰余金処分、
町道認定、報告、契約の一部変更の24件

条例制定

種徳美術館を解体するため

町旧伊達郡役所条例

福島県沖地震により被災した町種徳美術館を解体するため、美術館及び郡役所の施設管理条例である町文化記念館条例を廃止すると共に、旧伊達郡役所について独立した新たな施設管理条例を制定する。

質疑

・観覧料は誰が決めるのか、条例を出す時期、遵守事項への対応等の質疑があった。

条例改正

町監査委員条例の一部改正

改正の内容

地方自治法の一部改正を受けた議会方針を踏まえ、監査委員を議員のうちから選任しないための改正。

質疑

・監査員の事務局は何課か、委員の待遇改善、体制等の質疑があった。

三役に一カ月の減給処分

町長等の給与及び旅費に

改正の内容

学校給食センター設備購入事業4件の契約事業に関し、適性を欠く事務執行となった事を重く受け止め、その責任を明らかにする。

町 長：月84万6千円の10%減額

副町長：月67万6千円の5%減額

教育長：月63万5千円の5%減額

質疑

・意思決定のプロセス、担当課長、係長の処分は、再発防止策は、議会軽視では等の質疑があった。

※他に2件の一部改正があった。詳しい議案名はP9の議案審議結果表をご覧ください。

町道路線の認定

開発道路として整備された公衆用道路1路線を町道として認定する。

・町道2165号線

東大隅地内

令和5年度

補正予算

郡役所南側土地購入費7千万円

一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5939万6千円を追加し予算総額を64億4842万5千円とするもの。

主な歳入

・普通交付税

9727万5千円

・社会資本整備総合交付金事業債

4910万円

・財政調整基金繰入金

▲3486万3千円

主な歳出

・社会福祉総務一般費

770万円

(福祉施設等電力・ガス等価格高騰対策支援 17事業所)

・農業振興対策事業費

453万円

(農業用資材高騰等、肥料、家畜飼料等へ)

・道路維持管理費

2615万4千円

(郡役所周辺町道拡幅に伴う土地家屋補償費、道路法面対策)

・都市計画総務費

7071万9千円

(歴史文化エリア中核施設整備事業、土地購入費)

質疑

・地元住民の参画、総事業費、委員会への女性参画、地下埋設物の確認等の質疑があった。

※討論は次ページに掲載

国民健康保険特別会計

(事業勘定)(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ251万1千円を追加し、予算総額を13億4611万円とするもの。

歳入

・繰越金

251万1千円

歳出

・償還金及び還付加算金

251万1千円

9月定例会

令和5年8月29日～9月12日

◆後期高齢者医療特別会計
(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ10万円を追加し、予算総額を1億8973万2千円とするもの。

《歳入》

・雑入 10万円

《歳出》

・償還金及び還付加算金 10万円

◆介護保険特別会計

(保険事業勘定)(第2号)

歳入歳出予算の総額に9919万9千円を追加し、予算総額を18億1397万3千円とするもの

《歳入》

・一般会計繰入金 1408万4千円
・繰越金 8511万5千円

《主な歳出》

・償還金 9892万1千円

同意

町教育委員会委員の任命
再任

・住所 伊達崎字中屋敷

0万円に増額された。被害放置が原因による工事費用の増額であることは否定できない。業者との協議を進める余地は残されていると思われることから反対する。

陳情 審査結果

(継続審査2件)

庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘、配達、集金を自粛するよう求める陳情

(陳情者)

福島市野田町

字八郎内57―8

福島県を明るくする会

代表 嶋原 隆

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

不採択

討論

反対1
賛成9

反対

岡本 貴士 議員

不採択に反対する。委員会の調査は、総務課長の意見を判断基準として実際の

・氏名 長谷 富子
・任期 令和9年9月30日

町固定資産評価審査委員会
委員の選任
再任

・住所 万正寺字弁天水

・氏名 鈴木 敏弘

・任期 令和8年9月30日

再任

・住所 字桑島

・氏名 佐藤 久一

・任期 令和8年9月30日

半田財産区管理会委員の選任

一名の欠員に伴い新たに

選任する

桐ヶ窪町内会

新任

・住所 南半田字内城

・氏名 紺野 秀雄

・任期 令和8年3月31日

報告

令和4年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計に係る資金不足比率監査員の意見

いずれも適正に作成され是正改善を指摘すべき事項はない。

調査まで及んでいない。町民の為に職員が働く庁舎内において、政党機関紙の勧誘、配達、集金を認めるか否かについては更なる調査が必要と考える。

賛成

原 賢志 議員

今回の陳情については、本町における「自粛を求める陳情」であると捉え調査が行われた。調査においてそのような事実はないとの結論に至り、全会一致での審査結果となった。しっかりとした審査が行われたと捉え賛成する。

国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情

(陳情者)

東京都北区赤羽3―3―

3 ドミール赤羽707

インボイス制度を考える

フリーランスの会

代表 阿部 伸

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採択(意見書提出)



議案 審議結果表

令和5年第4回定例会(令和5年8月29日～9月12日)

議案名	議員名	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	齋藤松夫	佐藤武朗	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	片平秀雄
一般質問者		○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-



○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	齋藤松夫	佐藤武朗	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
認定第1号 令和4年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	●	●	○	○	●	○	○	-	可決(認定)
議案第44号 令和5年度桑折町一般会計補正予算(第3号)		○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第48号 桑折町立伊達崎小学校災害復旧工事(第3期)請負契約の一部変更について		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名		討論者	議案名		討論者
認定第2号	令和4年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について		議案第43号	桑折町道路線の認定について	
認定第3号	令和4年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		議案第45号	令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	
認定第4号	令和4年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について		議案第46号	令和5年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
認定第5号	令和4年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		議案第47号	令和5年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	
認定第6号	令和4年度桑折町半田財産区特別会計歳入歳出決算認定について		報告第4号	令和4年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について	
認定第7号	令和4年度桑折町水道事業会計決算認定について		同意第12号	桑折町教育委員会委員の任命について	
議案第37号	令和4年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		同意第13号	桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第38号	桑折町旧伊達郡役所条例		同意第14号	桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第39号	桑折町監査委員条例の一部を改正する条例		同意第15号	桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第40号	桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	齋藤松夫	発委第9号	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める意見書	
議案第41号	桑折町税特別措置条例の一部を改正する条例			所管事務・所掌事務調査報告	
議案第42号	桑折町都市公園条例の一部を改正する条例				

※報告は採決なし

反対

岡本 貴士 議員

町立伊達崎小学校校災害復旧工事(第3期)請負契約の一部変更に対して

討論

反対1
賛成9

契約の一部変更

◇町立伊達崎小学校校災害復旧工事(第3期)請負契約の一部変更

・現契約金額 9038万1720円

← 変更契約増額分 308万6380円

変更後契約額 9346万8100円

昨年の地震によつて発生した校舎外壁の被害は、昨年の9月、業者の復旧工事設計で「早急の復旧工事を行なくても被害が拡大しない」と担当課の説明があった。一方、地震から1年6カ月が経過した今般、外壁工事の復旧工事が当初の復旧費371万円から68(次ページにつづく)

賛成6／反対4

委員会調査報告

総務文教 常任委員会

委員長 齋藤 松夫

産業厚生 常任委員会

委員長 佐藤 榮三

議会運営委員会

委員長 半澤 高

総務文教 常任委員会

委員長 齋藤 松夫

委員会活動報告

で可決された。

この陳情書はインボイス制度の延期・見直しを求めるものでしたが、議会最終日、この意見書は全会一致で採択となった。

広報広聴 常任委員会

委員長 川名 静子

6/19、23、30
7/4、6、7、11、13
8/1、5、18

当委員会の広聴関係では様々な年代の方から広く意見を聴収する努力をしてきた。しかし、参加し易い設定の配慮に欠けていたことから、先ず子育て世代の代表であるPTA役員の方々を対象に、意見交換会を実施した。テーマは「開かれた議会を目指して」、幼、小、中から17名の参加を得た。議会から発信される広報物に関心はあるか。どんな発

(次ページにつづく)

6/13、15 7/4、20
8/16、22

総務文教常任委員会に付託されていた陳情第3号「庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情」は、9回の委員会による審査を経て「不採択とすべき」と決し、8月29日の本会議で多数で可決された。

その主な理由は、陳情書で指摘されているような問題事案は、本庁舎内では存在しなかったと言うことである。

陳情第6号「国に対し、適格請求書保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書は2回の委員会で審査し「採択すべし」と決し、同じく本会議



調査事件
一般質問のあり方について
調査の目的
一般質問のあり方を検討するため
調査の結果
QRコードから

広報広聴 常任委員会

委員長 川名 静子

調査事件
住民参加と情報公開の推進について
調査目的
議会改革活性化方針の具現化のため
調査結果
QRコードから

調査事件

一般質問のあり方について

調査の目的

一般質問のあり方を検討するため

調査の結果

QRコードから

調査事件

地元企業の人員確保と物価上昇対策について

調査目的

地域産業の維持・発展のため

調査結果

QRコードから

調査事件

こども子育て支援事業のあり方について

調査目的

町民ニーズへの対応、地域、社会での協働の取り組みを推進するため

調査結果

QRコードから

調査事件

SDGs宣言の具現化について

調査目的

SDGs宣言の具現化の促進のため

調査結果

QRコードから

議会運営委員会

委員長 半澤 高

6/19、30 7/6、13
8/3、21

信方法なら受け止められるのか。どこに伝えれば、その方法等全員から貴重な意見、感想、要望が頂けた。今回は初めての取組みであり、実施までの手続きが大変だったが、議会は積極的に町民の中に入り「声を聴く」「説明責任を果たす」事が重要と再認識した。
アンコンシヤスバイアスに捉われず。

※とは、思い込み、普通は、たいていこうだなど無意識に決めつけている事。



「一般質問のあり方について」は、特に「インターネット」で議会中継を視聴している方が理解しやすい一般質問のあり方」を約1年間にわたり調査してきた。ここで問題になった点は、途中から視聴した場合、どの部分を質問（再質問）し、答弁をもらっているのかわかりづらいという点であった。これまでの一般質問は、議員がまず登壇しすべての質問事項を質問しそれに対し町長（教育長）から答弁をもらい、その後の再質問は一問一答制にて進めるという形式であった。議論の結果、一問一答制を一般質問に全面的に取り入れるとの結論に至り、6月定例会に会議規則を改正し、一般質問を行ったところである。その後、6月定例会総括を経て9月定例会前に次の4点を改善・変更している。

令和4年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	40,826,435円
共済組合費負担金(年金分) ※制度改正により現議員は対象外	9,955,920円
職員人件費	16,579,050円
需用費(議会だより印刷製本費外)	1,569,238円
その他(旅費、交際費、使用料、負担金等)	5,138,142円
計	74,068,785円

- ① 一般質問通告書を新様式とし「質問事項」ごとに一問一答制とする。
 - ② 議会ホームページに議員それぞれの通告書を掲載する。
 - ③ 議会モニターの方々に視聴をお願いし意見を頂く。
 - ④ 「議会運用基準」の修正。
- なお、9月定例会の総括、他議会の情報収集、専門的知見の活用等により、改選後も引き続き調査し、よりよい一般質問を目指す事を期待する。

第18回 伊達郡町議会議員大会 7/21



伊達郡 町村議会 議長会主 催の、伊達郡3町(国見町・川俣町・桑折町)の議員大会が、7月21日に桑折町多目的スタジアム「イコーゼ」で開催された。

大会では、各町議会より5項目6点の要望事項と決議、特別決議が提出され、すべて全会一致で可決承認された。要望事項等は、各町議長により県の関係各部署等に対し要望活動を行った。

大会終了後、福島大学共生システム理工学類 川崎興太教授を講師にお招きし「アフターコロナの地域コミュニティの再生に向けて」と題しご講演を頂いた。桑折町議会からの要望事項は次の通りです。

- 1、被災橋梁の架け替え並びに一般県道の整備促進について
- ・主要地方道浪江・国見

線「伊達崎橋」の架け替えについて
・一般県道(保原・伊達崎・桑折・国見・福島線)の拡幅及び歩道設置について

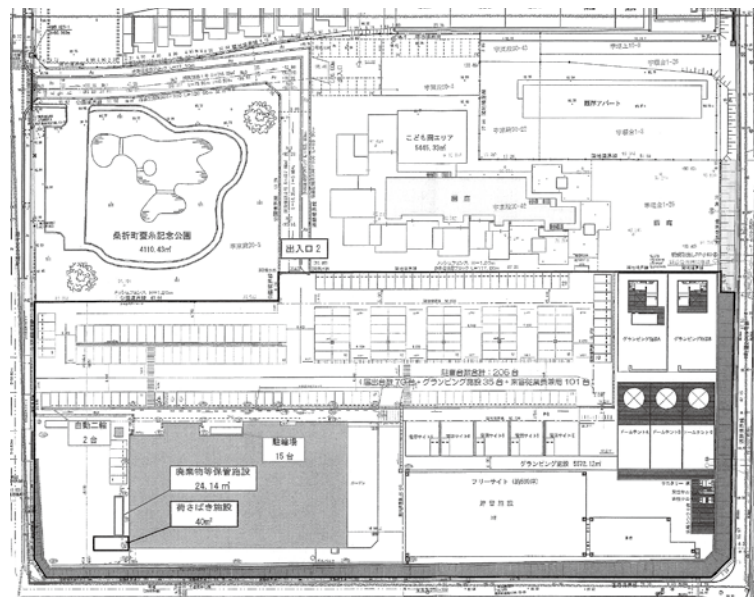
2、地域医療の確保について
・常勤医師や看護師の医療人材の確保と医療用物資の支給を含む財政支援について





半澤 高議員

認定こども園・協議の結果は 県と補助金交付の協議進める



8月22日(株)いちいの説明会では前設計のままだったが…

問 福島蚕糸跡地に開園予定の「幼保連携型こども園」に関しては、予定地に多量の地下埋設物が確認されたため工期が遅れ、開園予定が令和7年4月に1年ずれ込むとされた。8月17日には、町と(株)松葉福祉会、(株)いちいの三者協議が開催されたとの事であるが、その結果と今後の対応について伺う。

答 町長 三者協議では、基本協定書の開業時期を、商業施設およびアウトドア施設は令和6年4月に、認定こども園は令和7年4月に変更することで合意した。認定こども園については、管理経費や資材高騰に伴う工事費の増加により、設計変更の申出を受けた事からその内容とスケジュール確認を行い、県と補助金交付に係る協議を進めている。

問 高齢者おひとり様世帯は、少子高齢化等のなかで増加傾向にあるが、「高齢者の方がひとり暮らしでも安心して歳を重ねることができる桑折町」を目指すべきであり、それぞれに支援の手を差し伸べるべきであると思うが町長の考えを伺う。

答 町長 ひとり暮らしの方々については、必要に応じて生活実態を把握し、配食サービスや緊急通報装置貸与事業などの支援に取り組んでいる。今後も地域包括支援センターや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関・団体と連携協働しながら、総合計画及び高齢者保健福祉計画等に掲げている施策の推進に努めたい。



これも質問

問 衛生処理組合からの要請書への返答は
答 踏み込んだ議論と町民理解を前提に回答する

高齢者おひとり様世帯への支援は 総合計画等にある施策を推進する

一般質問

町政を問う 65分

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間65分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。

詳しくはこちら



登壇議員	質問項目 ○印の質問の概要を掲載しています。
半澤 高議員 (13ページ)	① 福島蚕糸跡地に開園予定の「幼保連携型こども園」について ② 伊達地方衛生処理組合の新ごみ焼却施設整備等について ③ 高齢者おひとり様世帯の支援について
齋藤 松夫議員 (14ページ)	① 「桑折町コンプライアンス条例(仮称)」の制定について ② 民営認定こども園1年延期問題の進捗状況について ③ 「企画提案は、町事業民営化ではなく事業者独自の民営事業」との町長答弁について ④ 桑折町地球温暖化対策実行計画について
川名 静子議員 (15ページ)	① 旧伊達郡役所を「歴史・文化エリアの核」とするなら、羽州街道の整備も必要ではないか ② 「認定こども園」開園が1年延期されたことによる町・現保育所への影響について
鈴木 隆志議員 (16ページ)	① 幼保連携認定こども園開園に向けての今後の対応について ② 認定こども園建設予定地の地中埋設物処理等に伴う資金計画の確認について ③ 釐芳保育所利用延長による運営体制及び跡地利用について ④ 「第2期こども・子育て支援事業計画」の再度見直し第3期の策定について ⑤ 福島蚕糸跡地スーパーマーケット・アウトドア、オープンに向けての対応について
石幡 政子議員 (17ページ)	① SDGs推進において「プラスチック資源循環促進法」の取り組みの現状とゴミ減量化推進の成果について ② 地域防災力の強化のためのハザードマップ見直しと防災協定について ③ 「心と体の健康づくり」における生活習慣病リスクの改善を図る取り組みについて
岡本 貴士議員 (18ページ)	① 町議会議員の選挙は10月の予定である。立候補者を増やす取り組みについて ② 議員報酬(年358万円)3.3倍が町長報酬の全国基準。町長報酬額について ③ 「議員の数を減らすべき」と町民の声を聞く。行政の視座から必要な議員の数について
羽根田ひとみ 議員 (19ページ)	① 町民からの要望に対しての進捗状況の見える化、DXによる情報の共有・公開について ② 中学校の環境整備(体育館ワックス・町道の草刈り)について ③ 文化活動で貢献された方に対する町の表彰の選考方法・推薦制度について ④ 高齢者・障がい者などに対する熱中症対策について ⑤ コミュニケーションを図るための役場職員のネームプレートについて



川名 静子 議員

誇るべき宝を未来へどう残す 残されたものの保存に努める



歩く人が安全に楽しめる街道に…

「歴史と文化」を重んずる町だからこそ街道とその町並みは早急に整備が必要だ。2つの街道を活かし郡役所周辺と併せた整備を伺う。

問 空き地・空き店舗の活かし方は。

答 町長 商工会が主体となつて調査している。今後所有者に意向調査をする予定だ。

問 歴まち計画に記載の景観行政団体へ登録をしてはどうか。

答 町長 建物等に制限を課し規制することから慎重に判断すべきと考える。

問 5つの商店会が街道を利用した事業は地区の結束力にも繋がるのでは。

答 町長 単独での事業開催は困難なため、連合会への交付に切り替えた。

問 歴まちは町・町民にどのように反映されたか。

答 町長 歴史まちづくりに対する気運の醸成と認識の向上が図られたと捉えている。

協議がダメなら この事業は無しか そうなる

建設予定地からがれき類が出た。現設計では建設に影響がある事から設計の見直しをしたい旨。開園は予定通りか。現保育所の体制に影響はないか伺う。

問 三者協議で何を決めたのか。

答 町長 施工期間の延長に係る経費、資材高騰からの工事費の増加から設計の見直しの申し出を受けた事から設計変更内容、スケジュールの確認をし補助金交付に係る協議を県と進めている。

問 県との協議が整わなければ令和7年4月開園はない。この事業はなくなるのか。

答 町長 そうなる。

問 「子育てのまち」なら様々な要望に対応すべきである。こども園の病児・病後児保育は医療行為ができる看護師が常勤するのか。

答 町長 看護師は医療行為はできないが、見守りや世話をを行う。

※歴まちとは…歴史を活かしたまちづくりを進めるため策定された「町歴史的風致維持向上計画」の略



齋藤 松夫 議員

企画提案書のどこに書いてあるか 何度も答弁してきたとおりだ

事業者の「企画提案書」より一部抜粋して紹介

〔仮称 桑折醸芳こども園建築計画の概要〕

- 1、設置主体 略
- 2、設置者 略
- 3、施設運営形態 幼保連携型認定こども園
- 4、施設規模
プラン1 ※醸芳幼稚園との住み分けを前提とした場合
定員 185名
プラン2 ※入園希望者全員を受け入れする施設とした場合
定員 240名
- 6、付帯機能 略

町長答弁でいくと町営と民営の定員合計は500人以上にも

町営保育所・幼稚園の定員合計は270人 民営化せず経営成り立つか

問 町長は認定こども園事業者が提案してきたのは、「保育所など町が運営している事業の民営化」ではなく、それと別に「事業者が独自に開設する民営事業としての提案である」と答弁してきた。この答弁は事実と反するもので、しかも1年以上にわたり行われてきた。議会での答弁は町民への答弁でもあり、この虚偽

答弁は重大問題だ。町長答弁が事実であるならば、事業者が提出した企画提案書の、どこにそれが書いてあるか、その掲載箇所を具体的に示されたい。

答 町長 これまで何度も答弁してきたように、提案は「事業者独自の提案である」と言うことを重ねて申し上げる。

温暖化対策の抜本的強化を 計画の見直しに着手したい

問 国連事務総長は「地球は温暖化を通り越して沸騰化の段階にある」旨の発言を行った。また菅前総理は2050年カーボンニュートラル宣言を發した。これに呼応し、多くの自治体でこれまでの温暖化対策実行計画を見直している。本町も同様に現計画の見直しを行うべきでないか。

またカーボンニュートラルの観点に立てばCO₂を

※温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。

吸収する森林機能の強化と保全が重要だ。こうした観点に立っての森林政策の有無を伺う。

答 町長 温暖化対策実行計画の見直しはご指摘の通りであり、見直しの方向であつたい。森林政策についてこれまでは、半田山自然公園を中心に管理と保全に努めているところだ。



これも 質 問

問 コンプライアンス条例制定を

答 その考えはない

問 設計大幅見直しへの対応は

答 要望受け入れ県と協議



石 幡 政 子 議員

生活習慣病リスクは軽減されたか 保健指導や健康講座で成果をみた



健康まつり：インボディチェック 目標80点

今年度も「こおり健康楽会」を中心に心と体の健康づくりに向け多様な講座を開催しているが、次の2点を伺う。

問 以前から課題とされてきたメタボ率や予備軍の減少、高血圧の改善など、生活習慣病リスクは改善がはかられたものか伺う。

答 町長 町民の健康指標については年々良好な傾向にある。保健指導等の取り組みが効果を促進している。と捉えている。

問 生活習慣病予防対策は若年層からの早期健康指導が重要と考えるがその取り組みを伺う。

答 町長 学校や家庭における食育等や若年層が参加しやすい健康講座の開催で意識の向上につなげている。



鈴 木 隆 志 議員

一年以上説明会開催していない 県との協議で進捗があれば開催



町民から「いつ説明会が開催されるのか？」の質問が…

幼保連携認定こども園開園に向けた今後の対応について、次の点を伺う。

問 定員以上の入園希望があった場合の対応は。

答 教育長 入園希望の保護者から再度希望を取り、入園先を調整する。

問 前回、説明会開催後一年以上が経過している説明会開催の予定は。

答 町長 県との協議等において一定の進捗が見られた段階において開催を予定している。

問 指定用途の商業機能・アウトドア・認定こども園施設で利用できなくなった場合、契約違反となるのか。

答 町長 契約で、指定用途の変更は、町の承認が必要となるので、その時点での判断となる。

問 プロポーザル実施要領及び企画提案書等にある事業内容変更の協議が不調となった場合、基本協定解除となるのか。

答 町長 協定に基づき解除となる。

これも 質 問

問 地域防災力強化の取り組みは

答 ハザードマップを見直した防災訓練の実施



大型プラスチックごみの回収は 関係機関と連携しすすめていく

問 本町では「プラスチック資源循環促進法」導入について、実施未定とう現状にある。ゼロカーボンを目指すうえで重要な取り組みと考える。しかし財政面での負担も大きいことから容易ではないと思うが、早期実施実現に向けての取り組みを伺う。

答 町長 お質しの法令は硬プラスチック類のリサイクルに取り組み減量化を図ること、CO₂の排出削減を進めるための法令で努力義務となったものである。新たな財源負担が生じることもあり実施未定ではあるが、伊達地方衛生処理組合や構成市町と連携しながら実施に向け調査研究をすすめていく。

これも 質 問

問 第2期こども・子育て支援計画の再見直しは

答 開園時期延期でも、再度の見直しはしない

問 認定こども園敷地内、地中埋設物処理費用は

答 設計変更に伴う協議において検討していく

問 商業施設駐車場等の避難場所としての利用は

答 災害時の避難場所として今後協議していく



醸芳保育所利用延長による対応は 人員の確保・建物等改修に努める

幼保連携認定こども園の開園時期延長により、醸芳保育所の運営が延長になったことから、次の点を伺う。

問 職員に対して利用延長に伴う説明は。

答 教育長 利用延長になったことを説明すると共に雇用延長のお願いもしている。

問 利用延長による職員の確保は。

答 教育長 現職員の雇用延長、新規募集や人材派遣等を通し、早めの人員確保に努めていく。

問 跡地利用計画・建物解体費用の試算は。

答 町長 現時点で具体的な検討や試算はしていないが、建物は再利用せず、解体する方向で、解体後の跡地は、幼稚園等の駐車場として利用する方向で、現在考えている。

問 建物・施設等の整備は。

答 町長 次年度の使用も見通しながら、施設状況を確認し、必要な措置を取っていく。



羽根田 ひとみ 議員

要望に対してのフィードバックを データ化して整理する



情報の整理共有の為にシステム化

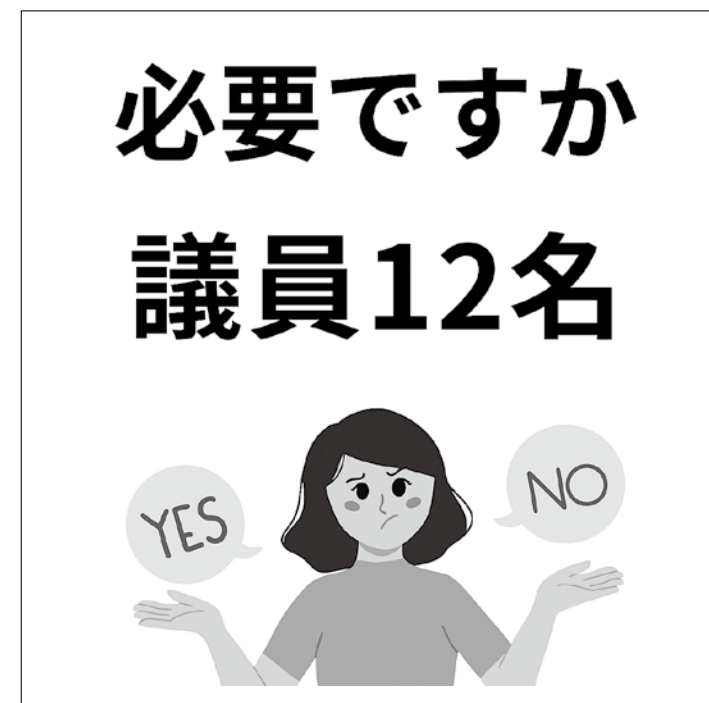
問 町内の要望は町内会長さんがまとめて提出している。また学校関係の要望も年度ごとまとめて提出しているが、その要望に対して課題点がある。何年たっても改善されないこと（道路や水路整備等）。また、すぐ対応してほしいことがいくつか改善されるかわからないことだ。要望はデータ化して整理共有し、担当者が変

わっても埋もれないようにすべきと考える。また進捗状況が分かるよう情報公開、フィードバックすべきと考えるがいかがか。
答 町長 情報共有を図っていく。学校から要望についても優先順位を検討しながら対応している。情報公開は先進事例を参考に検討していく。

議員の数について町行政の考えは 一定の議員数が不可欠である



岡本 貴士 議員



「減らすべき」という声も

問 「議員の数を減らすべき」と町民の声を聞く。町行政の視座から必要な議員定数とその理由を伺う。

答 町長 議員については、住民の代表として多様な民意を町政に反映するため、一定の議員数が不可欠であると捉えております。

立候補者を増やす取り組みは 選挙公営の拡大を周知する

問 町議会議員の選挙は10月の予定である。説明会など、立候補者を増やす取り組みを伺う。
答 町長 町議会議員選挙については、昨年実施の補欠選挙から適用された選挙

公営（公費負担）の拡大について周知するとともに、選挙期日や立候補予定者説明会の開催について、町ホームページや広報こおりお知らせ版により周知しております。



これも 質 問

問 町長報酬を見直す考えはあるか
答 ありません

中学校の環境整備を

安全に使用できるよう対応する

問 町内の小中学校の体育館ワックスがけは順番に行われているので、5年に1度になるが、中学校は部活動やスポーツ団体の利用が多いため、5年に1度では足りないのではないか。

問 中学校前の町道の草がのびている。練習試合など、町外からくる方も多いので、学校周辺の整備を行うべきだと考えるがいかがか。
答 町長 町道は、車両及び歩行者が支障なく通行できるよう対応している。特別な対応はしない。

答 教育長 床面の状況に応じて回数・材料を精査し、安全に使用できるよう対応する。



これも 質 問

問 文化活動で貢献された方に表彰を
答 教育委員会で表彰者の選考をする
問 高齢者や障がい者に対する熱中症対策を
答 おでかけパス等の促進をしていく
問 職員のネームプレートを見えるところに
答 名前を名乗ったうえで丁寧に対応する

議員活動状況報告		令和5年6月定例会報告以降
活 動 状 況	対 象 者	
議会定例会・臨時会		
6月13日～6月15日 令和5年第3回議会定例会	全 議 員	
議会全員協議会		
6月13日～6月19日、6月29日、6月30日、7月18日、8月8日	全 議 員	
例月出納検査		
6月26日、7月24日、8月25日、	監 査 委 員	
定期監査・決算審査		
7月20日、7月25日～7月31日	監 査 委 員	
令和5年度定期監査概況報告		
8月4日 令和5年度定期監査概況報告	監 査 委 員	
伊達地方消防組合議会		
7月18日 伊達地方消防組合議会全員協議会	選 出 委 員	
// 令和5年度第3回伊達地方消防組合議会定例会	//	
8月9・10日 伊達地方消防組合議会視察研修	//	
公立藤田病院議会		
7月31日 公立藤田病院議会全員協議会	選 出 委 員	
// 令和5年度第2回公立藤田病院議会臨時会	//	
伊達地方衛生処理組合議会		
7月24日 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	選 出 委 員	
福島県後期高齢者医療広域連合議会		
7月5日 福島県後期高齢者医療広域連合議会事前打合せ	議 長	
7月19日 福島県後期高齢者医療広域連合議会運営協議会	//	
// 令和5年度第2回福島県後期高齢者医療広域連合議会定例会	//	
福島県町村議会議長会		
6月27日 福島県町村議会議長会広報研修会	議長・選出委員	
7月10日 福島県町村議会議長会新人議員研修会	羽根田・石橋議員	
7月24日 福島県町村議会議長会理事・幹事合同会議	議 長	
// 福島県町村議会議長会定期総会決議事項等に係る県への要望実行運動	//	
// 福島県町村議会議長会県議会議長、県副知事と本部役員との懇談会	//	
8月10日 福島県町村議会議長会定期総会特別決議事項に基づく要請活動	//	
8月22日 福島県町村議会議長会令和5年度町村議会正副議長・事務局研修会	正 副 議 長	
伊達郡町村議会議長会		
7月10日 伊達郡町村議会議長会議(合同会議)	正 副 議 長	
7月21日 第18回伊達郡町議会議員大会	全 議 員	
政務調査会		
6月30日 政務調査会役員会	選 出 委 員	
7月4日 政務調査会総会	全 議 員	
その他行事		
6月16日 令和5年度桑折醸会総会	議 長	
6月18日 令和5年度半田山愛草総会	//	
6月22日 上町商工会総会	//	
6月24日 ホタルまつりオープニングセレモニー	//	
7月10日 伊達郡振興懇談会兼歓送迎会	正 副 議 長	
7月20日 令和5年度第37回桑折町小学校水泳大会競技大会	//	
7月25日 「献上桃」選果・箱詰式	議 長	
7月26日 元気こおり本舗有限責任事業組合 令和5年度通常総会	//	
7月29日 諏訪神社例大祭式典	//	
8月5日 広報広聴常任委員会と議会モニター会議	選 出 委 員	
8月7日 交通事故死ゼロ10年達成感謝状贈呈式	//	
8月9日 「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会	全 議 員	
8月10日 いちい桑折店並びにグランケット桑折新築工事地鎮祭	副 議 長	
8月12日 令和5年度追分盆踊り大会	全 議 員	
8月20日 松原ふるさと豊年盆踊り大会	全 議 員	
8月23日 福島地方水道用水供給企業団来庁	//	
8月25日 第2回「伊達桑折IC周辺地」まちづくり研究会	//	
8月26日 献上桃の郷指定30周年記念式典・祝賀会	正副議長・産厚委員長	

詳しくは、こちらから



「議会モニター」会議

令和5年8月5日(土)桑折公民館で開催

議会モニターさんから
分かりやすい「議会だより」づくりをテーマに
ご意見を頂きました。

文字の大きさは改善されて
きていますが、今後も改善
に取り組んでいってほしい

議会だよりなので、文章が多くなる
のはしかたないが、写真などが
ないので、単調になりがち、もう少し書
式を一定にしたら

議会の全体像が見
えるような特集が
あるといいですね

一般質問の構成は各議員
に1ページの現在の構成
でいいと思います



文字に圧がある。もっと写
真を使ってはどうですか

議会動画が二次元コードから飛べるのはいいですね

予算の都合でカラーが無理なら、
モノクロで良いがデザインは
プロに依頼した方がいいのでは

開いたとたんに文字がびっしりで
読みたくなる。はじめだけで
も、興味を引くようにしては

町民の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。

「議会だより」アンケートから

- ・毎回読む 7名
- ・目にした時に読む 7名
- ・今回初めて読んだ 1名

「議会だより」を読んで気づいた点・要望など

- ・読みやすい構成になっており大変良いと思います。
- ・各議員さんが目標に対して、努力している姿勢が見えました。
- ・表紙写真からテーマ性を感じられOK、ただ、文字色、大きさの工夫が欲しい。
- ・LINEで、広報おおり同様「議会だより」掲載上しては。
- ・議員の日頃の活動内容（それぞれの考え、活動）などの報告が見える。
- ・字が細く読みにくい。

(60代男性)

(30代男性)

(70代男性)

(80代女性)

(60代女性)

(60代女性)

議会報告会のお知らせ

10月16日 初議会で議会構成が決まります。
詳しい月日、時間、開催場所等は後日お知らせします。
多くの方のご参加お待ちしております。

編集後記

10月13日 任期満了日に、今期最後の「議会だより」の編集を終了し、お届けする事ができホッとしています。

定例会の内容を1日でも早く皆さまにお知らせしたいと、終了から1ヶ月以内発行にこだわりました。関心を寄せお読みいただきありがとうございました。

10月16日から新たな体制でスタートします。これからも「開かれた議会を目指して」活動していきますのでよろしくお願いします。

川名静子

■広報広聴常任委員会 編集委員

委員長 川名 静子 委員 原 賢 志
副委員長 鈴木 隆 志 委員 石 幡 政 子

まちの歳時記

～実るほど頭を垂れる
稲穂かな～



議会だより

令和5年10月10日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>